



2025 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 ASAHI EITO ホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社 星 野 和 也
代 表 者 名 長 グループ CEO
(コード 5 3 4 1 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 経営管理部長 三 宅 久 史
T E L (06) 7 7 7 7 - 2 0 6 7

新しい挑戦「希ガス」 記者会見内容に関するお知らせ

当社は、2024 年 8 月 27 日発表の「新たな ASAHI EITO グループへの転換」にて開示した通り、現在、以下の 3 項目を重点施策として経営改革を進めております。

- (1) 祖業であるアサヒ衛陶株式会社の黒字化
- (2) グループとしてのアジア展開
- (3) 新しい挑戦への取り組み

上記 (3) について、当社は 2024 年 7 月 12 日に新たな事業として「希ガス事業」に挑戦する事をお知らせしております。2025 年 5 月 9 日に開示を行いました海外メディア向け記者会見の内容について以下の通りお知らせします。

記

1. 「記者会見内容概要」

・登壇者

ASAHI EITO HD 代表取締役社長 星野和也

ECEM シンガポール 代表 雷 海平 (以下、雷氏)

世界半導体特殊ガス有限公司 代表 Richard Chung (以下、Chung 氏)

・参加者

海外メディア、日本メディア含めて約 20 名

・発表内容

- ① 資本業務提携の詳細と今後の見通しについて

<雷氏発表>



・ASAHI EITO HD の出資決定を受けて、ECEM シンガポールの株主構成は、以下の通りになる予定である。

Global Semiconductor Special Gas Limited 約 51%

台湾の上場企業（予定）25%

ASAHI EITO HD 20%

ECEM 役員・従業員 約 4%

台湾の上場企業に関しては、まだ先方役員会の決議を得られておらず、現時点で具体名は発表できないが、近々合意を行う予定。

- ・ECEM シンガポールは半導体製造向け特殊高純度ガスに特化した製造工場を運営し、世界的な半導体ファウンドリー大手企業や、半導体サプライチェーンへの供給を予定している。
- ・自身が中国で立ち上げた ECEM は 2026 年度の売上見込みが日本円で約 30 億円、EBITDA18 億円（注 1）、という規模まで成長してきた。ECEM シンガポールにおいても 2027 年度を目途に ECEM の実績を上回る成果を達成したいと考えている。
- ・ECEM シンガポールはマレーシア工場を買収し、同工場を改修すると同時に、隣接地に新たな設備投資を行う予定である。マレーシア工場の買収に関しては既に合意がなされている。ガス事業は輸送コストが非常に大きなビジネスポイントとなる為、最適な場所を選定することが出来たと思う。
- ・ECEM の「小数点以下 7 桁」の高純度 F₂ガスの製造プロセスはアジアにおいてトップレベルであると自負しており、ECEM で製造できた特殊高純度産業用ガスに関しては、マレーシア工場において生産を再現すればよく、同品質の製品を ECEM シンガポールにて生産できることには自信を持っている。
- ・シンガポールには既に ECEM がコネクションを有する大手企業が多数存在し、更に投資が行われている。半導体ファウンドリー大手 UMC（注 2）には ECEM で製造した製品を ECEM シンガポール経由

で納品を既に成功した実績がある。例えば GFS（注 3）シンガポールにおいては、商品テストに合格しており、マレーシアでの生産が始まれば供給できると考えている。また、半導体サプライチェーンプレイヤーの Micron（注） 4 に対しても商品テストは合格しており、マレーシアでの生産と同時に供給が出来ると考えている。

（注 1） 1 人民元を 19.2 円として計算

（注 2） United Microelectronics Corporation

（注 3） Global Foundries

（注 4） Micron Technology



- ・シンガポールは政治的に比較的中立と考えられており、地政学的アプローチから、今回シンガポール法人を設立することとなったが、2027 年頃を目途に ECEM JAPAN（仮称）を設立し、特殊高純度産業用ガスを製造する工場の立ち上げを視野に入れている。
- ・Chung 氏の話にも出てくると思うが、世界戦略を考えた時に日本は非常に重要な市場になると予想している。
- ・ASAHI EITO HD は日本で上場している企業であり、ECEM シンガポールにおいて、ステークホルダーであるだけでなく、我々と対等なパートナーとして実績を積み、ECEM JAPAN（仮称）が立ち上がった際には中心的な役割を果たせるようになって欲しい

<Chung 氏発表>



- ・私はこれまで 100 件超の IPO に関わってきた他、グローバルな資金調達を 700 億円以上行ってきた実績があり、また、香港株式市場に上場している Innovax Holdings Limited (2680.HK) 会長でもある。半導体業界、特に特殊高純度ガスの世界については実際に投資も行い、関心を持ってみてきた分野であるが、その中で、ECEM 社長の雷氏の技術力は中国でも傑出しており、今後世界展開を行われるのも、当然の流れだと考えている。
- ・今回、ECEM シンガポールを設立するにあたり、日本の上場企業である ASAHI EITO HD が参加したのは、日本の半導体市場の発展見通しについて楽観的であると考えており、スピード感を持って動ける ASAHI EITO HD に日本で重要な役割を果たせることを期待してのものであると考えられる。

<当社代表取締役社長 星野発表>



- ・当社は 300 年以上の歴史を誇る企業であるが、祖業である陶器事業を継続しつつも、産業領域を徐々に拡大してきた。
- ・今回の資本業務提携は、単なる資本業務提携ではなく、ECEM シンガポールと知財を含めた提携を

行い、当社が半導体特殊高純度ガス業界において、本格的に事業進出出来る為の契約である。

- ・当社としては、社内での改革を行うと同時に、人材の発掘や組織編制を含めて、ECEM シンガポールのステークホルダーや当社のステークホルダーの方々の期待に応える活躍をしていく。



なお、当日、以下の3名によるインタビューが行われ、HPに記載をしております。

<インタビュー>

ASAHI EITO HD 株式会社

代表取締役 星野和也

Global Semiconductor Special Gas Limited

董事 虞華威

ECEM Singapore LTD

董事 雷海平

URL : <https://www.asahieito-holdings.co.jp/new/>